



平成25年度
別海町立野付小学校
学校だより No.7
平成25年10月1日
発行責任者
校長 音川 忠志

みんなでつくろう学芸会 ～大切なのは心を一つにすること～



一雨ごとに紅葉がすすむ中、遠く知床連山や国後島もくっきり見え、秋の深まりが感じられてまいりました。

10月、学校生活の折り返し地点であり、新たな後半のスタートでもあります。4月、子どもたちは戸惑いの中にも緊張感を持ち、「やる気」を感じられる日々を送りました。とても良かったと思っております。そして、半年が経過し、子どもたちが日ごろの学習の成果や自己表現の場である学芸会への取り組みがいよいよ始まります。学芸会の取り組みで大切なことは、「みんなでつくろう」という気持ちと「挑戦する」気持ちです。

練習の中で友達のよさをいっぱい見つけ、認め合い鍛えあう中で学級の連帯感が強まり、「みんなでつくる」ことを実感していくことが出来ます。そして、恥ずかしがらずに演技・演奏することや、自分で考えた表現に挑戦することで、新たな自分の発見につながります。時には、練習中、思うように出来ない自分に涙する場面もあるでしょうが、そこが成長の大事なチャンスです。心の底に眠っている「本気」を呼び起こし、自分の役や器楽のパートに挑戦することによって、新たな自分を発見することができます。

一人ひとりが今の自分に出来ることを考え、友達と一緒に活動することによって、みんなの心が一つになっていきます。子どもたちが、また一つ大きく成長することを期待しています。新たな目標と緊張感をもって、学校生活後半のスタートを切ることを願っています。

お家のみなさんにお願いです。練習期間中の子ども達をたくさん励まして下さい。大きな励みになります。そして、学芸会終了後には、子ども達の頑張りをほめてあげて下さい。大きな自信になります。よろしくお願ひ致します。



「ねぎぼうず」～読み聞かせボランティア

読み聞かせボランティアサークル『ねぎぼうず』さんについて紹介させていただきます。毎週、金曜日、8時10分～、各学年の教室から、読み聞かせの声が聞こえてきます。メンバーは、元小学校PTA、現役PTA、将来のPTAのお母さん方12名が中心となっています。その他、元幼稚園園長さんとその家族、地域のおじいちゃん・おばあちゃんにも、ご協力いただいております。

この活動は、野付の子どもたちに少しでも豊かな言語環境を届けたい、そして豊かな心を持った人間に育って欲しいという思いで始まったものです。学校・家庭・地域力連携・協力することはとても大切なことです。活動がスタートして約2年ですが、今後野付地区の子どもたちの人生にとって極めて有意義なものとなることでしょう。

今後ともよろしくお願ひいたします。

